

『食べる機能の低下を早期に発見し、 対応するために』

～観察評価のポイントと環境調整～

講師 林 久子 先生



(作業療法士・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
(医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

林 先生からのコメント

食べることは生きていくうえで不可欠な活動であり、大切な日常生活動作のひとつです。作業療法士は、いかに自分の手を使って自分で食べることが続けられるかという視点で患者様の食事動作を支援しています。

食事動作の観察を中心とした評価から、誤嚥や摂食嚥下機能低下のリスクを早期発見し、その具体的な対応方法について、姿勢調整や道具（食具）の選択、体幹や上肢・手指機能の役割を含めてお話しさせていただきます。

食べることに関わるにはどうしたら良いのかわからない。口腔ケアはできるようになったけれど…。食環境をどう整えるのかわからない。このような悩みをお持ちの方、実習を交えて理解を深めましょう。

日時

2019年2月17日(日) 10:00～12:00

会場

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
5階 大会議室2
（大阪市中央区大手前1丁目3番49号）
ドーンセンターHP

定員

60名（受付先着順）

受講料

大阪府歯科衛生士会員 4,000円
他府県歯科衛生士会員 6,000円
会員外 8,000円



大阪府歯科衛生士会HP



●訪問口腔ケア研修会〈食支援初級〉〈食支援中級〉申し込み方法

★ 大阪府歯科衛生士会ホームページ「研修会」フォームにてお申し込みください。

★ FAXの場合

①研修会名 ②開催日 ③名前 ④会員番号 ⑤連絡先（携帯電話番号とFAX番号）を
明記の上、本会事務局までFAXしてください。（FAX 06-4302-4767）

※研修会当日は受付にて申し込み控えを印刷した物または携帯電話画面をご提示ください。

●申し込み期間 平成30年12月8日(土)～平成31年1月19日(土)

※定員になり次第締め切ります。

※申し込み受理後、本会より受講料納入方法や必要物品等について、折り返し連絡させていただきます。

認定更新生涯研修・専門研修

在宅歯科医療の基礎

摂食嚥下機能療法の基本技術

V栄養管理 A食生活アセスメント

V摂食嚥下障害に対する訓練法 B(7)食介助方法

合計

1単位

1単位

2単位